

1 調査団員・氏名

氏名	担当業務	現職
大井 英臣	総括	独立行政法人 国際協力機構 国際協力専門員
芹澤 辰一郎	調達監理計画	財団法人日本国際協力システム 業務部
服部 修	計画管理	独立行政法人 国際協力機構 地球環境部水資源・防災グループ防災 第一課
佐藤 公平	総括(二次調査)	独立行政法人 国際協力機構 ミャンマー事務所 次長
吉水 潤	副総括(三次調査)	独立行政法人 国際協力機構 資金協力支援部 実施監理第二課 監査役
南 直行	業務主任	八千代エンジニアリング(株)
谷津 哲夫	自然条件調査/社会環境	八千代エンジニアリング(株)
山本 壽幸	施設計画・設計 1	八千代エンジニアリング(株)
高嶋 繁生	施設計画・設計 2	(株)パセット
鈴野 時男	施工調達計画・積算	八千代エンジニアリング(株)
鶴岡 葉介	業務調整	八千代エンジニアリング(株)

2. 調査行程（第1次現地調査）

日順	月日	曜日	官団員			コンサルタント Aグループ			コンサルタント Bグループ			宿泊地
			総括	計画管理	調達監理計画	業務主任	自然条件調査／ 社会環境	業務調整	施設計画・設計1	施設計画・設計2	施工調達計画 ・積算	
			大井英臣	服部修	芹澤辰一郎	南直行	谷津哲夫	鶴岡業介	山本壽幸	高嶋繁生	鈴野時男	
1	2月1日	日	官団員：移動[東京(10:45)TG641→Bangkok(15:45)/(17:55) TG305 →Yangon(18:40)] ト：移動[東京(10:55)JL717→Bangkok(16:00)/(17:55) TG305 →Yangon(18:40)]						コンサルタント			ヤンゴン
2	2月2日	月	JICAミャンマー事務所への表敬及びインセプションレポートの説明・協議、EOJ、MSWRR/教育省等の表敬訪問及びインセプションレポートの説明									ヤンゴン
3	2月3日	火	社会福祉省との実務協議(他ドナー案件のデザイン、仕様、規模など) 現地業者の面談(Thu Kha Construction Group Co.)									ヤンゴン
4	2月4日	水	UNDP, UNICEF, UN-Habitat等国連機関への挨拶及び協議									ヤンゴン
5	2月5日	木	現地調査：ヘリコプターで移動 ヤンゴン 08:00 → ラバタ 08:50 → Thin Gan Lay(14) → Mi Chaung Aing(13) → ラバタ UNHCR、UNOCHA、UNICEF、MIMU現地事務所訪問・挨拶等									ラバタ
6	2月6日	金	現地調査(ヘリコプター)：ラバタ → Hlya Zar(3) → Zin Pyun Kyun(4) → ラバタ ラバタ港湾荷役施設調査・確認等									ラバタ
7	2月7日	土	UNICEF現地事務所にてスピードポート手配方法の確認 現地調査(ヘリコプター)：ラバタ → Tha Pyay Chaing(8) → Chaung Gyi(16) → ヤンゴン									ヤンゴン
8	2月8日	日	JICAミャンマー事務所にて社内協議 カウンターパート(社会福祉省)とのM/D(案)協議									ヤンゴン
9	2月9日	月	MSWRR・教育省とのミニッツ(案)協議・修正等 社会福祉救済復興省大臣表敬訪問及びインセプションレポート、本案件のスケジュール、コンポーネント等の説明・協議									ヤンゴン
10	2月10日	火	・AM: 社内協議 ・PM: M/D署名・締結報告(EOJ、JICAミャンマー事務所)、社内協議 ・官団員帰国(Yangon(19:40) TG306 → Bangkok(21:20/23:50) TG642 → 東京・成田)		・AM: 社内協議(南・谷津・山本) ・PM: M/D署名・締結報告(EOJ、JICAミャンマー事務所)、社内協議		MIMU事務所訪問：地図、データ収集等 現地業者(A1 Construction)面談等			ヤンゴン		
11	2月11日	水	成田着 7:30		現地調査(ヘリコプター)：ヤンゴン(08:00) → ラバタ(08:50) → Tha Pyu Gone(17) → Ma Khan Pon(12) → Shwe Gone(2) → ヤンゴン						ヤンゴン	
12	2月12日	木			ボガレタウンシップ内サイト調査準備、資料等の整理			ヘリコプターで移動：ヤンゴン(08:00) → ラバタ(08:50) ポート利用でのサイトへのアクセス等についてラバタタウンシップ及びUNICEFとの協議 ラバタ → Aung Tha Pyay(9)サイト調査 → ラバタ			A: ヤンゴン B: ラバタ	
13	2月13日	金			ヘリコプターで移動及びボガレタウンシップサイト調査 ヤンゴン 08:00 → ラバタ 08:30 → Ka Tha Hmyin(7) → Ah Shi Gyi(32) → Thu Kha Wa Di(30) → Ti Tant(31) → ボガレ ボガレタウンシップ及びUNICEF現地事務所とポート利用によるサイト調査の打ち合わせ			ラバタタウンシップサイト調査(スピードポート利用) ラバタ 06:40 → Ye Kyaw Wa(15) → Kya Chaung(8) → Nat The(7) → Chaung Gyi(16) → ラバタ			A: ボガレ B: ラバタ	
14	2月14日	土			ボガレタウンシップサイト調査(ポート利用) ボガレ 07:00 → Pan Phu(20) → Poe Lanung Ywar Ma(26) → Mthar Yar Kone(27) → ボガレ			車両にて移動：ラバタ 08:00 → ヤンゴン 16:00 サイト調査資料の整理等			A: ボガレ B: ラバタ	
15	2月15日	日			ボガレタウンシップサイト調査(ポート利用) ボガレ 07:00 → Sat Kyun(18) → La Mu Oat Ka Lay(19) → Ywa Thar Ya(23) → ボガレ			現場調査資料整理等			A: ボガレ B: ヤンゴン	
16	2月16日	月			・ボガレタウンシップ内建設資材市場調査 ・ボガレ港湾荷役施設調査 ・スピードポート等村落への交通手段について調査			・サイト調査資料整理 ・WFPとヘリコプターでのサイト調査に関する打合せ			A: ボガレ B: ヤンゴン	
17	2月17日	火			ボガレタウンシップサイト調査(ポート利用) ボガレ → Kyet Taujing Chaung(22) → Ah Lan Oke(29) → Set San(UNICEF支援の飲料水浄水設備視察) → ボガレ			ラバタタウンシップサイト調査(ヘリコプター) ヤンゴン 11:00 → Chan Thar Gone(11) → ヤンゴン			A: ボガレ B: ヤンゴン	
18	2月18日	水			車両にて移動：ボガレ 08:00 → ヤンゴン 13:00 JICAミャンマー事務所へのサイト調査結果概略報告及び資料整理等			・サイト調査資料整理 ・WFPとヘリコプターでのサイト調査(2月21日分)に関する打合せ			ヤンゴン	
19	2月19日	木			・サイト調査結果について社内協議(選定校、概算事業費など) ・現地業者面談(依頼見積回収等：谷津・鈴野)及びデータ収集(MIMU)(高嶋)						ヤンゴン	
20	2月20日	金			・サイト調査結果についてのまとめ ・現地業者面談(Mandalay Strength Construction Co., Ltd.)(谷津・鈴野)						ヤンゴン	
21	2月21日	土			ボガレタウンシップサイト調査(ヘリコプター) ヤンゴン 11:05 → ボガレ → Kyun Thar Yar(21) → ヤンゴン			・サイト調査資料整理 ・市場調査等			ヤンゴン	
22	2月22日	日			・収集データ・資料整理/社内協議/市場調査等						ヤンゴン	
23	2月23日	月			・サイト調査資料まとめ、現地業者への依頼見積回収・精査 ・現地再委託調査業務に関する詳細説明・見積依頼等(谷津・鶴岡)						ヤンゴン	
24	2月24日	火			・教育省との協議(サイト調査結果及び選定校について) ・ローカルコンサルタントへの再委託調査業務内容説明及び見積依頼(谷津・鶴岡) ・小学校/シニョーターのプロタイプ及び概算事業費の検討						ヤンゴン	
25	2月25日	水			・社会福祉省との協議(サイト調査結果及び選定校について) ・MES(Myanmar Engineering Society)との本プログラムでのプロタイプについて協議 ・再委託調査内容についてローカルコンサルタントの協議						ヤンゴン	
26	2月26日	木			・JICA事務所にてJICA本部とのTV会議 ・プロタイプ及び概算事業費についての検討						ヤンゴン	
27	2月27日	金			・MIMU及びUNDPにて本プログラム調査地点の協議(谷津・高嶋) ・JICAミャンマー事務所にて変更案及び全体事業費について協議 ・ローカルコンサルタントと打合せ(谷津・高嶋・鈴野)						ヤンゴン	
28	2月28日	土			・社内協議 ・プログレスレポート作成・市場調査結果まとめ及び現地業者との打合せ						ヤンゴン	
29	3月1日	日			プログレスレポート作成						ヤンゴン	
30	3月2日	月			・プログレスレポート作成・市場調査結果まとめ ・現地コンサルタントの面談及び情報収集						ヤンゴン	
31	3月3日	火			プログレスレポート作成・市場調査結果まとめ						ヤンゴン	
32	3月4日	水			・再委託調査業務に係る交渉及び契約						ヤンゴン	
33	3月5日	木			・AM：MSWRR及び教育省との調査プログレスレポート及び協議 ・調査結果概要書の作成等						ヤンゴン	
34	3月6日	金			・JICAミャンマー事務所及び在ミャンマー日本国大使館への調査結果報告、今後の予定等について協議 ・JICA教育専門家との面談(教育制度など) ・帰国[Yangon 19:40 TG304 → Bangkok 21:20]						バンコク	
35	3月7日	土			・帰国[Bangkok 08:15 JL708 → 東京/成田16:00]						—	

サイト調査期間中の連絡先(CDMA携帯電話)：

Aグループ(ボガレタウンシップ) 09 861 2307 (谷津)

Bグループ(ラバタタウンシップ) 09 861 2306 (山本)

(第2次現地調査)

日順	月日	曜日	官団員		コンサルタント	
			総括	協力企画	業務主任	施設計画・設計1
			佐藤公平	服部修	南直行	山本壽幸
1	4月21日	火		移動 東京 → Yangon	移動 [東京(10:55) JL717→(16:00) Bangkok (17:55) TG305 →Yangon(18:40)]	移動 [成田19:05 JL707→Bangkok 23:40]
2	4月22日	水	JICAミャンマー事務所協議、EOJ表敬 ドラフトファイナルレポート合同協議 (MSWERR、教育局他)			Bangkok 07:50 TG 303 →Yangon 8:45
3	4月23日	木	MSWERR ミニッツ協議		MSWERR ミニッツ協議、教室計画修正	
4	4月24日	金	JICA打合		JICA打合、教室計画修正	
5	4月25日	土		移動 Yangon→ Bangkok	ローカルコンサルタントとの打合せ	
6	4月26日	日		Bangkok→成田着	ローカルコンサルタントとの打合せ	
7	4月27日	月	MSWERRミニッツ署名		ボガレ・トープイ校調査、MSWERRミニッツ署名	
8	4月28日	火			ローカルコンサルタントとの打合せ	
9	4月29日	水			入札図書作成参考資料現地再委託契約	
10	4月30日	木	教育局ミニッツ署名、JICA打合、帰国報告会(テレビ会議)、EOJ報告	帰国報告会(テレビ会議)	教育局ミニッツ署名、JICA打合、帰国報告会(テレビ会議)、EOJ報告	
11	5月1日	金			<Labor Day> 移動 [Yangon19:45 TG 306→Bangkok21:30]	
12	5月2日	土			Bangkok08:10 JL 708→ 成田16:15着	

(第3次現地調査)

日順	月日	曜日	官団員	業務主任	自然条件調査／社会配慮	施設計画・設計1
				南 直行	谷津哲夫	山本壽幸
1	6月21日	日		移動[東京(10:30)JL717→Bangkok(15:05)/(17:50)TG305→Yangon(18:45)]		
2	6月22日	月		JICAミャンマー事務所表敬訪問及び協議 入札図書作成参考資料 チェック・修正		
3	6月23日	火		MSWERR・教育省表敬訪問及び協議 入札図書作成参考資料 チェック・修正		
4	6月24日	水		入札図書作成参考資料 チェック・修正		
5	6月25日	木		入札図書作成参考資料 チェック・修正		
6	6月26日	金		入札図書作成参考資料 チェック・修正		
7	6月27日	土		入札図書作成参考資料 プリント		
8	6月28日	日	移動[東京→Bangkok→Yangon]	資料整理		
9	6月29日	月	JICAミャンマー事務所表敬訪問及び協議、EOJ表敬訪問、 ファイナルレポート(ドラフト)、入札図書(案)説明及び合同協議(MSWERR、教育省他)			
10	6月30日	火	ミニッツ(案)協議		関係機関と入札図書(案)打合	
11	7月1日	水	ミニッツ(案)協議		関係機関と入札図書(案)打合	
12	7月2日	木	ミニッツ署名、JICAミャンマー事務所・EOJへのミニッツ締結報告 官団員帰国 Yangon(19:40) TG306 → Bangkok →	ミニッツ署名、JICAミャンマー事務所・EOJへのミニッツ締結報告 帰国 [Yangon(19:45) TG306 → Bangkok(21:30)]		
13	7月3日	金	→東京着	Bangkok(08:10) JL708→東京着(16:15)		

3 相手国関係者リスト

<u>所属及び氏名</u>	<u>職位</u>
社会福祉・救済復興省	
Ministry of Social Welfare, Relief and Resettlement	
Maj. Gen. Maung Maung Swe	Minister
Mr. Myint Tun	Director General (Fire Service Department)
Mr. Than Oo	Director General (Relief and Resettlement Department)
Mr. Soe Kyi	Director General (Department of Social Welfare)
Mr. Aung Tun Khine	Deputy Director General (Department of Social Welfare)
Mr. Myo Nyunt	Deputy Director General
Mr. Suin Aye	Director (Ministry Office)
Mr. Myint Thein	Director (Department of Social Welfare)
	International Relations
Mr. Tin Win	Deputy Director (Department of Social Welfare)
Mr. Win Shwe	Deputy Director
Ms. Rupal Mya	Assistant Director (Department of Social Welfare)
Ms. Htwa Tin	Assistant Director
Mr. Win thu	Assistant Director (Department of Social Welfare)
Mr. Mint Soe	Staff Officer (Relief and Resettlement Department)
教育省	
Ministry of Education	
Brig. Gen. Kyaw Thu	Director General (Department of Basic Education No.1)
Ms. Than Than Myint	Director (Department of Basic Education No.1)
Ms. Thin Thayin	Deputy Director (Department of Basic Education No.1)
Ms. Thi Thi Htoo	D.S.O (Department of Basic Education No.1)
Mr. Khin Aung	Assistant Director (Department of Basic Education No.1)
運輸省	
Ministry of Transportation	
Mis. Khin Cho Cho Shein	Assistant Director (Department of Meteorology & Hydrology)
Ms. Nyein Nyein Naing	Forecaster (Department of Meteorology & Hydrology)
国連開発計画	
UNDP	
Mr. Toshihiro Tanaka	Country Director
Mr. Dillipkvnak Bhangh	National Coordinator
Ms. Shanny Cambell	Consultant
国連人間居住計画	
UN-HABITAT	
Mr. David Evans	Acting Head of Agency
Mr. Khaing Khaing Shwe	National Coordinator
Ms. Oddy Angela	IM Coordinator
Mr. Muhammad Imran Khan	GIS/Information Management Coordinator

国連児童基金

UNICEF

Mr. Khin Maung Luin	Senior Structural Engineer
Mr. Joseph Oenarto	Architect
Mr. Ramesh Shrestha	Country Representative
Prof. Kunii Osamu	Chief Health & Nutrition Section
Ms. Kyu Kyu Tan	Administer Assistant (Labutta)
Mr. Zew Htoo	Staff (Labutta)
Mr. Dhen Neing Oo	Staff (Labutta)
Mr. Thein Than Tun	Field Officer (Bogale)
Mr. Kyaw Win Oo	Logistic Officer (Bogale)
Mr. Whi in Htet	Boat Coordinator (Bogale)

国連難民高等弁務官事務所

UNHCR

Mr. Mya Then Tun	Asst Field Officer (Labutta)
------------------	------------------------------

国連人道問題調整事務所

UNOCHA

Mr. Matthew Serventy	Field Coordination Officer
Mr. Moe Win Aung	Field Coordination Assistance (Labutta)
Ms. Khay Maw San	Field Coordination Assistance (Labutta)

世界食料計画

WFP

Mr. Jean-Francois Lafont	Chief Air Transport Officer
Ms. Nyein Nyein Naing	Forecaster

ミャンマー情報管理ユニット

Myanmar Information Management Unit

Ms. Eva Vognilt	Manager
Ms. Tara Somn	Data Assistance
Ms. Hnin Nander Htun	Liaison Associate
Mr. Kyaw Naing Win	GIS Analyst

ミャンマー技術協会

Myanmar Engineering Society

Mr. Han Zaw	President
Mr. Kyaw San Win	Vice-President
Mr. Ko Ko Gyi	Director

ラブタタウンシップ PDC

Labutta Township Peace and Development Council

Mr. Myint Oo	Chairman of TPDC
--------------	------------------

ボガレタウンシップ PDC

Bogale Township Peace and Development Council

Mr. Soe Thein	Chairman of TPDC
---------------	------------------

エーヤワディ管区教育局

Ayeyarwady Division Education Office

Mr. Myo Swe	Ayeyarwady Division Education Officer
-------------	---------------------------------------

ラブタタウンシップ教育局
Labutta Township Education Office
Mr. Win Maung

Labutta Township Education Officer

ボガレタウンシップ教育局
Bogale Township Education Office

Mr. Soe Lwin
Mr. Kyi Thin
Mr. Hla Mying
Mr. Htay Htay
Mr. Myint Soe

Bogale Township Education Officer
Asst. Bogale Township Education Officer
Asst. Bogale Township Education Officer
Asst. Bogale Township Education Officer
Previous Bogale Township Education Officer

在ミャンマー日本国大使館
Embassy of Japan in Myanmar

Mr. Mitsuji Suzuka 鈴鹿 光次 参事官
Mr. Hisanori Yoshimura 吉村藤謙 二等書記官

JICA ミャンマー事務所
JICA Myanmar Office

Mr. Hideo Miyamoto 宮本 秀夫 所長
Mr. Kohei Sato 佐藤 公平 次長
Mr. Junichi Hirano 平野 潤一 所員
Mr. Kyaw Lwin Oo Program Officer
Ms. Mi Mi Cho Program Assistant

4 討議議事録

[討議議事録]

Minutes of Discussions
on the Preparatory (Outline Design) Study
on the Program for Construction of Primary School cum Cyclone Shelters
in the Area affected by Cyclone Nargis
in the Union of Myanmar

Based on the results of the Preparatory (Needs Assessment) Study, the Government of Japan decided to conduct a Preparatory (Outline Design) Study on the Program for Construction of Primary School cum Cyclone Shelters in the Area affected by Cyclone Nargis (hereinafter referred to as "the Program") in the Union of Myanmar (hereinafter referred to as "Myanmar") and entrusted the study to the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA").

JICA sent to Myanmar the Outline Design Study Team (hereinafter referred to as "the Team") headed by Mr. Hidetomi OI, Senior Advisor, JICA, and is scheduled to stay in the country from 1 February to 10 February 2009 together with the consultant team which will stay in Myanmar until 6 March 2009 for further study.

The Team held discussions with the officials concerned of the Government of Myanmar and conducted a field survey in the area affected by Cyclone Nargis.

In the course of the discussions and field survey, both parties confirmed on the main items described on the attached sheets. The Team will proceed to further works and prepare the Outline Design Study Report.

10 February 2009, Yangon

大井 莫 臣

Mr. Hidetomi OI
Leader
Preparatory (Outline Design) Study Team
Japan International Cooperation Agency



U Aung Tun Khaing
Deputy Director General
Department of Social Welfare
Ministry of Social Welfare, Relief and
Resettlement
The Union of Myanmar
On behalf of Chairman of the Rehabilitation
and Reconstruction Sub-committee

U Kyaw Thu
Director General
Department of Basic Education No. (1)
Ministry of Education
The Union of Myanmar

ATTACHED DOCUMENT

1. Objective of the Program

To reduce future risks caused by cyclones and create safe learning space in the Program Sites

2. Responsible, Implementing and Coordinating Organization

- 2-1 Rehabilitation and Reconstruction Sub-committee is responsible for implementation of the Program and accordingly the signature on Grant Agreement (G/A) and Agent Agreement will be made by a representative authorized by the chairman of Rehabilitation and Reconstruction Sub-committee. Member list of Sub-committee is described in ANNEX 1.
- 2-2 For the proper and smooth implementation of the Program, Consultative Committee and Working Group will be established. Implementation Structure is shown in ANNEX 2.

Members of Consultative Committee are the representatives of the following organizations.

- 1) Rehabilitation and Reconstruction Sub-committee (Ministry of Social Welfare, Relief and Resettlement)
- 2) Ministry of Education
- 3) Embassy of Japan
- 4) JICA Myanmar Office
- 5) The Procurement Agent

Members of Working Group are the representatives of the following organizations.

- 1) Rehabilitation and Reconstruction Sub-committee (Ministry of Social Welfare, Relief and Resettlement)
- 2) Ministry of Education
- 3) JICA Myanmar Office
- 4) The Procurement Agent

3. Program Site(s)

3-1 Program Sites

The Program Sites are cyclone affected area of Labutta Township and Bogale Township in Ayeyarwady Division.

3-2 Construction Sites of Primary Schools

Myanmar Side submitted the revised candidate school list (ANNEX 3) to JICA. JICA will select target schools based on survey of the consultant team from those and will inform to Myanmar Side through JICA Myanmar Office in March 2009.

Handwritten mark: a circle containing a stylized character, possibly 'K#'

Handwritten initials: 'uj' and 'mf' with a line underneath

4. Items requested by Myanmar side

Myanmar side requested the reconstruction of schools with basic facilities (Classroom, Teacher's room, Toilet) and equipment (Desk, Chair, Water Supply equipment).

JICA will assess the appropriateness of the request and report the findings to the Government of Japan.

5. Japan's Aid Scheme

- 5-1 Myanmar side understands the Japan's Grant Aid Scheme for Disaster Prevention and Reconstruction described in ANNEX 4.

6. Schedule of the Study

- 6-1 The consultant team will proceed to further studies in Myanmar until 6 March 2009.
6-2 JICA will prepare the Draft Final Report in English and dispatch a team in order to explain its contents around the 4th week of April 2009.
6-3 JICA will prepare the Draft Tender Documents of the Program and dispatch a consultant team in order to explain its contents around the 4th week of June 2009.
6-4 JICA will complete the Outline Design Study Report and Draft Tender Document by the middle of July 2009.

7. Other Relevant Matters

- 7-1 Ministry of Social Welfare, Relief and Resettlement, the focal Ministry for Rehabilitation and Reconstruction, will facilitate the procedures of the Program with Rehabilitation and Reconstruction Sub-committee in keeping close contact with JICA Study Team.
7-2 Ministry of Education will provide JICA study Team with necessary information on the reconstruction of schools. After completion of the Program, the Ministry will be responsible for operation and maintenance of schools.
7-3 Ministry of Social Welfare, Relief and Resettlement shall take necessary measures on the exemption or bear of taxes, duties and customs of the goods to be used and procured for the Program.
7-4 Timeframe of the Program

Myanmar side requested to complete construction works as early as possible by accelerating every procedures and shortening construction period as much as possible in accordance with the policy of the Government.

The team explained that bilateral aid programs require critical steps such as Cabinet Approval, Exchange of Notes, Grant Agreement, Agent Agreement etc., however the procedures of Grant Aid for Disaster Prevention and Reconstruction applied to this Program is simpler and quicker than other aid schemes because of the nature of the assistance. It should also be considered that any structure constructed by Japanese assistance should be strong enough exactly following the design and under strict quality control.

Handwritten mark: a circle containing a hash symbol (#).

Handwritten marks: "2/1" and a signature.

The team promised that the timeframe mentioned in the Inception Report will be examined based on the findings of the consultant team and will be informed to Myanmar side toward the end of February 2009.

Both sides agreed to keep close relationship each other and accelerate procedures to be taken by each side as fast as possible for early completion of the Program.

ANNEX 1: Member list of Rehabilitation and Reconstruction Sub-Committee

ANNEX 2: Implementation Structure

ANNEX 3: Candidate School List for Construction

ANNEX 4-1: Japan's Grant Aid Scheme for Disaster Prevention and Reconstruction

ANNEX 4-2: Flow of Funds for implementation under GADPR

ANNEX 5: Major Undertakings to be taken by Each Government

ANNEX 6: Tentative Implementation Schedule



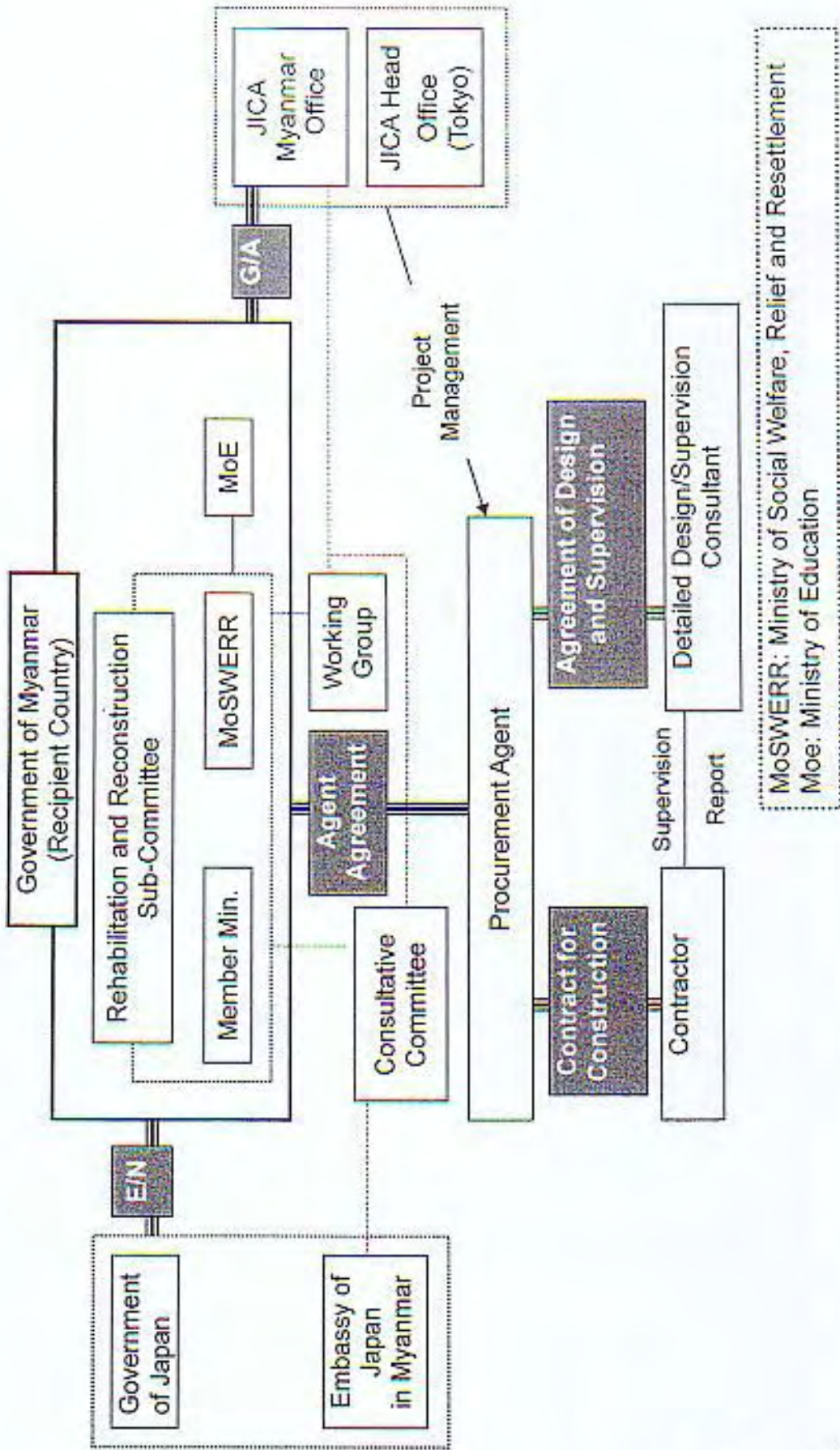
li

rr

Member list of Rehabilitation and Reconstruction Sub-Committee

No.	Occupation/Organization	
1	Minister Ministry of Social Welfare Relief and Resettlement	Chairman
2	Dy. Minister Ministry of Construction	Member
3	Dy. Minister Ministry of Finance and Revenue	Member
4	Dy. Minister Min. of Agriculture and Irrigation	Member
5	Dy. Minister Min. of Home Affairs	Member
6	Dy Minister Min. of Health	Member
7	Dy. Minister Min. of Industry No. (1)	Member
8	Minister Min. for Progress of Border Areas and National Races and Development Affairs	Member
9	Director General National Archive Department	Member
10	Director General General Administration Department	Member
11	Representative Myanmar Engineering Society	Member
12	Dy. Minister Ministry of Social Welfare Relief and Resettlement	Secretary
13	Director General Relief and Resettlement Department	Joint Secretary

Implementation Structure



(R#)

61 / 11

Candidate School List for Construction

Sr. No	Township	School/Village Name	Village Tract	Remark
1	Labutta	BEPS- Daunk Chaung	Da Ni Seik	Gov. Plan in 08-09
2	Labutta	BEPS- Shwe Gone	Da Ni Seik	
3	Labutta	PPS- Hlwa Zar	Hlwa Zar	
4	Labutta	PPS- Zin Pyune Gone	Hlwa Zar	
5	Labutta	PPS- Kwa Kwa Lay	Hlwa Zar	
6	Labutta	BEPS- Kyar Chaung	Kone Gyi	
7	Labutta	BEPS- Nat Thet	Kone Gyi	
8	Labutta	BEPS- Tha Pyay Chaing	Kone Gyi	
9	Labutta	BEPS- Aung Tha Pyay	Kyun Chaung	
10	Labutta	BEPS- Wah Taw Gone	Pyin Ah Lan	Gov. Plan in 09-10
11	Labutta	PPS - Chan Thar Gone	Pyin Ah Lan	
12	Labutta	BEPS- Ma Khan Pon	Pyin Ah Lan	
13	Labutta	PPS - Mi Kyaung Ai	Sa Lu Seik	
14	Labutta	PPS- Thin Gan Lay	Sin Chae Yar	
15	Labutta	BEPS- Ye Kyaw Wa	Tel Pin Kine	
16	Labutta	BEPS- Chaung Gyi	Tha Byu Gone	
17	Labutta	BEPS- Tha Pyu Gone	Tha Byu Gone	
18	Bogale	BEPS-Sat Kyun	Kyein Chaung Gyi	
19	Bogale	BEPS-La Mu Oat Ka Lay	Kyein Chaung Gyi	
20	Bogale	BEPS- Pan Phu	Kyein Chaung Gyi	
21	Bogale	BPS-Kyun Thar Yar	Kyun Thar Yar	
22	Bogale	BEPS-Kyet Taujng Chaung	(Kyun Nyo Gyi) Kyun Hteik	
23	Bogale	BEPS-Ywar Thar Yar	(Kyun Nyo Gyi) Kyun Hteik	
24	Bogale	BEPS-La Tar Chaung	(Kyun Nyo Gyi) Kyun Hteik	World Vision Plan
25	Bogale	BEPS-Poe laung Ywar Ma	Ma Gu	
26	Bogale	BEPS-Mthar Yar Kone	Ma Gu	
27	Bogale	BEPS-Ma Gu (1) Kyawt	Ma Gu	World Vision Plan
28	Bogale	BEPS-Ka Tha Hmyin	Daunt Gyi	
29	Bogale	BEPS-Ah Lan Oke	Set San	
30	Bogale	BEPS-Thu Kha Wa Di	Set San	
31	Bogale	BEPS-Ti Tant	Set San	
32	Bogale	BEPS-Ah Si Gyi	Set San	

Japan's Grant Aid Scheme for Disaster Prevention and Reconstruction

The Grant Aid scheme provides a recipient country with non-reimbursable funds to procure the facilities, equipment and services (engineering services and transportation of the products, etc.) under principles in accordance with the relevant laws and regulations of Japan. Grant Aid for Disaster Prevention and Reconstruction is one of the several types of the scheme designed to assist disaster affected countries in disaster prevention and / or disaster reconstruction. The Grant Aid is not supplied through the donation of materials as such.

The scheme is divided into categories as follows;

- Grant Aid for Prevention (Project Type)
- Grant Aid for Prevention (Program Type)
- Grant Aid for Reconstruction (Project type)
- Grant Aid for Reconstruction (Program type)

1. Procedures of Grant Aid for Disaster Prevention and Reconstruction (Program Type)

Japan's Grant Aid for Disaster Prevention and Reconstruction (Program Type) is executed through the following procedures.

- | | |
|----------------------|--|
| Application | (Request made by a recipient country) |
| Study | (Outline Design Study conducted by JICA) |
| Appraisal & Approval | (Appraisal by the Government of Japan and Approval by Cabinet) |
| Determination of | (The Notes exchanged between the Governments of Japan and |
| Implementation | the recipient country) |
| | (Grant Agreement between JICA and recipient country) |

Firstly, the application or request for a Grant Aid project submitted by the Recipient is examined by the Government of Japan (the Ministry of Foreign Affairs) to determine whether or not it is eligible for Grant Aid. If the request is deemed appropriate, the Government of Japan assigns JICA (Japan International Cooperation Agency) to conduct a study on the request. The request can be received at diplomatic mission of Japan when necessary.

Secondly, JICA conducts the Preparatory (Outline Design) Study, using Japanese consulting firms.

Thirdly, the Government of Japan appraises the project to see whether or not it is suitable for Japan's Grant Aide Scheme, based on the Preparatory (Outline Design) Study conducted by JICA, and the results are then submitted to the Cabinet for approval.

Fourthly, the project, once approved by the Cabinet, becomes official with the Exchange of Notes (E/N) signed by the Governments of Japan and the Recipient. And the Grant for the project will be made available after the Grant Agreement (G/A) between JICA and Recipient is concluded.

Finally, for the prompt and proper implementation of the project, procurement agent will be introduced for facility construction projects. Under the contract with the recipient country, procurement agent will conduct to prepare tender, contract and so forth, on behalf of the recipient country.

2. Preparatory (Outline Design) Study

1) Contents of the Study

The aim of the Preparatory (Outline Design) Study ("the Study"), conducted by JICA on a requested project ("the Project"), is to provide a basic document necessary for the appraisal of the Project by the Government of Japan. The contents of the Study are as follows:

- (1) Confirmation of the background, objectives, and benefits of the Project and also institutional capacity of agencies and communities concerned of the recipient country necessary for the Project's implementation.
- (2) Evaluation of the appropriateness of the Project to be implemented under the Grant Aid Scheme from a technical, social and economic point of view;
- (3) Confirmation of items agreed upon by both parties concerning the basic concept of the Project.
- (4) Preparation of an outline design of the Project.
- (5) Estimation of cost for the Project.

The contents of the original request are not necessarily approved in their initial form as the contents of the Grant Aid project. The Outline Design of the Project is confirmed considering the guidelines of Japan's Grant Aid scheme.

The Government of Japan requests the Government of the Recipient to take whatever measures are necessary to ensure its self-reliance in the implementation of the Project. Such measures must be guaranteed even through they may fall outside of the jurisdiction of the organization in the recipient country actually implementing the Project. Therefore, the implementation of the Project is confirmed by all relevant organizations of the Recipient through the Minutes of Discussions.

2) Selection of Consultants

For smooth implementation of the Study, JICA uses (a) registered consulting firm(s). JICA selects (a) firm(s) based on proposals submitted by interested firms. The firm(s) selected carry(ies) out a Preparatory (Outline Design) Study and write(s) a report, based upon terms of reference set by JICA.

The consulting firm(s) used for the Study may be recommended by JICA to the recipient country to also work on the Project's implementation after the Exchange of Notes and the Grant Agreement, in order to maintain technical consistency.

本井

ul m

3. Japan's Grant Aid for Disaster Prevention and Reconstruction Scheme

(1) Exchange of Notes (E/N)

Japan's Grant Aid for Disaster Prevention and Reconstruction is extended in accordance with the Notes exchanged by the two Governments concerned, in which the objectives of the project, period of execution, conditions and amount of the Grant Aid, etc., are confirmed.

(2) Grant Agreement (G/A)

The Grant for the Project will be made available after the Grant Agreement between JICA and the Government of recipient country is concluded, in which procedural details of the Project are confirmed.

(3) Contract with Procurement Agent

The recipient country will conclude an Agent Agreement with the Designated Procurement Agent in order to secure smooth implementation of the Project.

(4) "The period of the Grant Aid for Disaster Prevention and Reconstruction (Program Type)" means the one fiscal year, which Cabinet approves, the Project for. Within the fiscal year, all procedures such as exchange of Notes, concluding the Grant Agreement with JICA and concluding an Agent Agreement with procurement agent must be completed. However, in case of delays due to unforeseen factors such as natural disaster, the period of the Grant Aid can be further extended for a maximum of one fiscal year at most by mutual agreement between the two Governments.

(5) Under the Grant Aid for Disaster Prevention and Reconstruction, in principle, products and services including transport or those can be purchased from all countries and areas.

(6) Necessity of "Approval"

The Government of recipient country or its designated authority will conclude contracts denominated in Japanese yen with procurement agent. Those contracts shall be approved by JICA. This "Approval" is deemed necessary to secure accountability to Japanese taxpayers.

(7) Undertakings required to the Government of the recipient country

In the implementation of the Grant Aid Project, the recipient country is required to undertake such necessary measures as the following:

- a) To use the Grant and its accrued interest for purchasing products and services within a period of twelve months after the date of execution of the Grant,
- b) To ensure prompt excursion for unloading, customs clearance at the port of disembarkation and internal transportation of the products purchased under the Grant Aid,

(A#)

2/1

- c) To exempt from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which will be imposed in the recipient country with respect to the supply of the products and services under the Verified Contracts,
- d) To use the Grant and its accrued interest properly and efficiency for disaster prevention and reconstruction.
- e) To accord Japanese or other nationals, whose services may be required in connection with the supply of the products and services under the Verified contracts, such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work,
- f) To present to the Government of Japan a report prepared in written form acceptable to the Government of Japan on the transaction on the Account together with copies of contracts, vouchers and other documents concerning the relevant transactions without delay when the Grant and its accrued interest are completely drawn or when the period for the use of the Grant and its accrued interest expires or upon request by the Government of Japan,
- g) To secure land necessary for the sites of the Project and to clear, level and reclaim the land prior to commencement of the construction and
- h) To clear the sites and provide facilities for the distribution of electricity, water supply and drainage and other incidental facilities in and around the sites when they are deemed necessary for the Project as a result of the Study.

(8) "Proper Use"

The recipient country is required to maintain and use the facilities constructed and equipment purchased under the Grant Aid properly and effectively and to assign staff necessary for this operation and maintenance as well as to bear all the expenses other than those covered by the Grant Aid.

(9) "Re-export"

The products purchased under the Grant Aid should not be re-exported from the recipient country.

(10) Banking Arrangements (B/A)

The Government of the recipient country or its designated authority should open an account in the name of the Government of the recipient country in a bank in Japan (hereinafter referred to as "the Bank"). The Government of Japan will execute the Grant Aid by making payment in Japanese yen to cover the obligations incurred by the Government of the recipient country or its designated authority under the verified contracts.



Ul rk

(11) Blanket Disbursement Authorization (BDA)

By issuing the "Blanket Disbursement Authorization (BDA)" by the Government of the recipient country to the Bank, the Government of the recipient country designates a procurement agent as the representative authorized to act in the name of the recipient country concerning all transfers of the Grant to an account in the name of the procurement agent.

(12) Payment

The procurement agent shall make payment requests for transferring of the Grant to cover expenses necessary for the procurement of products and services.

41 15

(#)

Role of JICA and Procurement Agent for the Project

In order to ensure the smooth and successful implementation of the project after the Government of Japan decides to implement the Project and the Exchange of Notes (hereinafter referred to as "the E/N") for the Project and Grant Agreement (hereinafter referred to as "the G/A") are signed, the role and arrangements of JICA and Procurement Agent will be as follows. The demarcation of both organizations is shown in the chart attached.

1. Role of JICA:

JICA carries out the following works for supporting and expediting proper implementation of the Project under the E/N and the G/A;

- (1) Conducting Preparatory (Outline Design) Study to give an outline design, to estimate approximate cost of the Project to be implemented under the E/N and the G/A, to draft tender document and to propose construction plans for the Project to be implemented under the E/N and the G/A.
- (2) Participating as an advisor to the Donor and the Recipient in the Consultative Committee and other related meetings, to report the progress of the Preparatory (Outline Design) Study and to support and expedite the implementation of the Project under the E/N and the G/A.
- (3) Dispatching delegations to project sites to observe the situation and to give necessary advice to Procurement Agent.
- (4) Joining the final inspection to be implemented by Procurement Agent and to give necessary advice to Procurement Agent.

2. Role of Procurement Agent:

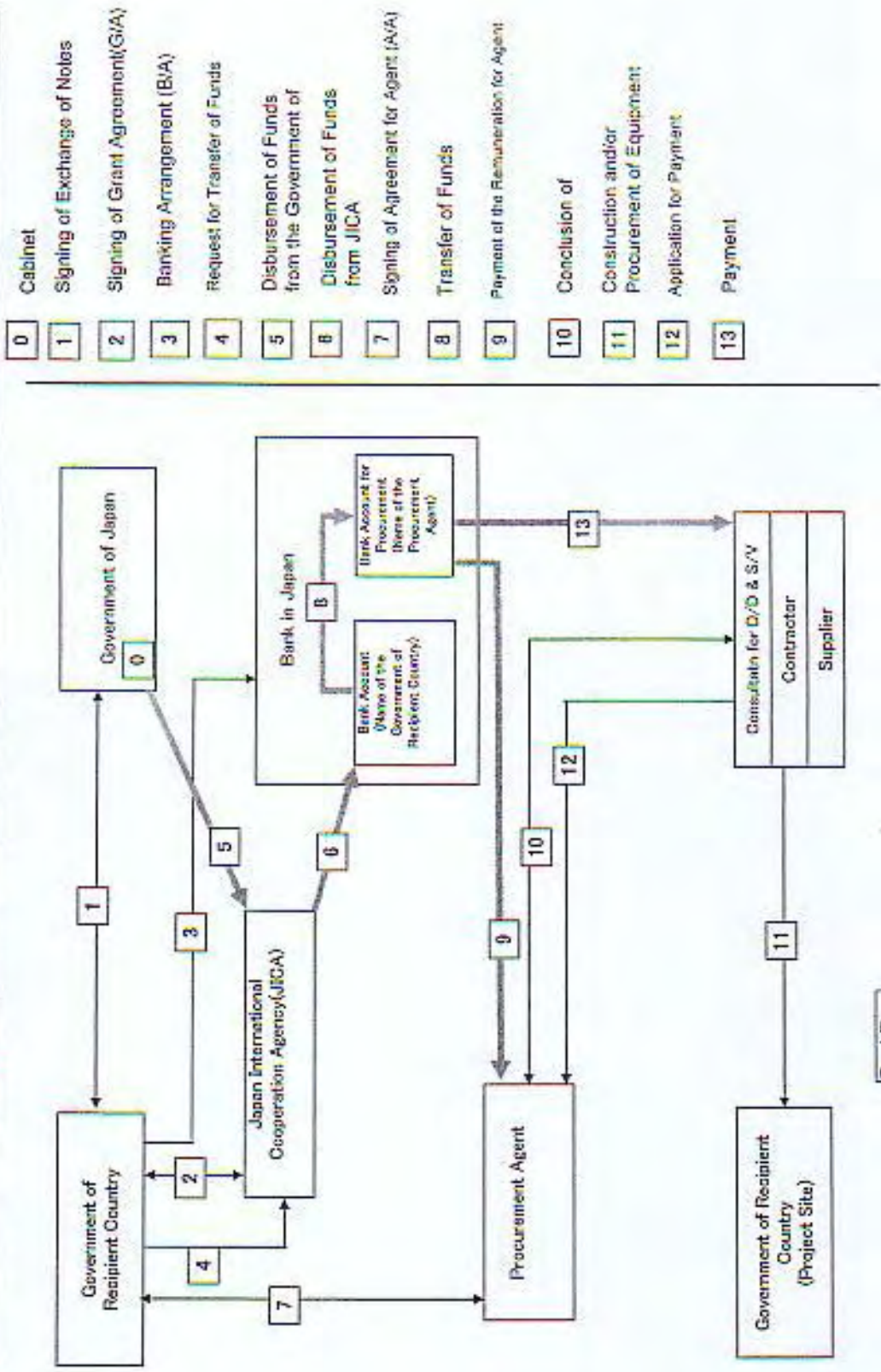
Procurement Agent carries out the following works besides the scope of Agent's service for the implementation of the project under the E/N and the G/A

- (1) Examining the approximate calculation of the cost of the Project, draft of tender document for the Project, and other relevant documents and information drafted by JICA and furnished by the recipient country, for the proper execution of the procurement procedures for the Project under the E/N and the G/A.
- (2) Forwarding the results of tender evaluation to JICA for its information.
- (3) Consulting with JICA when necessary in the course of the Project implementation.

20 11

(R#)

Flow of Funds for implementation under GADPR



(Handwritten mark)

1/1

3

Major Undertakings to be taken by Each Government

NO	Items	To be covered by Grant Aid	To be covered by Recipient side
1	To secure land		•
2	To clear, level and reclaim the site when needed		•
3	To construct gates and fences in and around the site		•
4	To construct the parking lot	N/A	
5	To construct roads		
1)	Within the site	N/A	
2)	Outside the site		•
6	To construct the building	•	
7	To provide facilities for the distribution of electricity, water supply, drainage and other incidental facilities		
1)	Electricity		
a.	The distributing line to the site		•
b.	The drop wiring and internal wiring within the site	N/A	
c.	The main circuit breaker and transformer	N/A	
2)	Water Supply		
a.	The city water distribution main to the site		•
b.	The supply system within the site (receiving and/or elevated tanks)	N/A	
3)	Drainage		
a.	The city drainage main (for storm, sewer and others) to the site		•
b.	The drainage system (for toilet sewer, ordinary waste, storm drainage and others) within the site	•	
4)	Furniture and Equipment		
a.	General furniture		•
b.	Project equipment	•	
8	To bear the payment commissions to the Japanese bank for banking Services based upon the B/A (1/10% of total project cost (E/N amount))		•
9	To ensure unloading and customs clearance at port of disembarkation in recipient country		
1)	Marine(Air) transportation of the products from Japan to the recipient country	•	
2)	Tax exemption and customs clearance of the products at the port of disembarkation		•
3)	Internal transportation from the port of disembarkation to the project site	N/A	•
10	To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and the services under the verified contract such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work		•
11	To bear or exempt custom duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the recipient country with respect to the supply of the products and services under the verified contracts		•
12	To maintain and use properly and effectively the facilities constructed and equipment provided under the Grant Aid		•
13	To bear all the expenses, other than those to be borne by the Grant Aid, necessary for construction of the facilities as well as for the transportation and installation of the equipment		•

B/A: Banking Arrangement

N/A: Not Applicable

Schedule of the Study Including the Tentative Implementation Schedule

	2009												2010												2011							
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	
Outline Design Study	[Bar chart: 2009-07-01 to 2009-07-15]																															
Field Survey/Study in Myanmar	[Bar chart: 2009-07-15 to 2009-07-30]																															
Inception Report	[Bar chart: 2009-07-30 to 2009-08-05]																															
Progress Report	[Bar chart: 2009-08-05 to 2009-08-15]																															
Draft Final Report	[Bar chart: 2009-08-15 to 2009-08-25]																															
Final Report (draft), Draft Tender Documents (T/D)	[Bar chart: 2009-08-25 to 2009-09-15]																															
Final Report	[Bar chart: 2009-09-15 to 2009-09-25]																															
Approval of Cabinet of Japan	[Bar chart: 2009-09-25 to 2009-10-05]																															
Exchange of Notes (E/N) Grant Agreement (G/A)	[Bar chart: 2009-10-05 to 2009-10-15]																															
Agent Agreement	[Bar chart: 2009-10-15 to 2009-10-25]																															
(Construction Work)																																
Preparation of Tender Documents	[Bar chart: 2009-10-25 to 2009-11-05]																															
Prequalification	[Bar chart: 2009-11-05 to 2009-11-15]																															
Tendering	[Bar chart: 2009-11-15 to 2009-11-25]																															
Tender Evaluation	[Bar chart: 2009-11-25 to 2009-12-05]																															
Issue of Award	[Bar chart: 2009-12-05 to 2009-12-15]																															
Preparation of bond, insurance etc.	[Bar chart: 2009-12-15 to 2009-12-25]																															
Contract for construction works	[Bar chart: 2009-12-25 to 2010-01-05]																															
Construction Works	[Bar chart: 2010-01-05 to 2010-01-15]																															
Inspection / Touch-up	[Bar chart: 2010-01-15 to 2010-01-25]																															
Handing-over	[Bar chart: 2010-01-25 to 2010-02-05]																															

Rainy season: May - October

R#

5/17